

【提案事業名】

「災害に強い街づくり ～ 災害救助犬を活用した防災対策 ～」

【事業概要】

本事業は、新潟県中越沖地震や東日本大震災等、過去の被災地で捜索活動を行った NPO 法人和歌山災害救助犬協会の経験とノウハウを活かし、近い将来、東海・東南海・南海地震により甚大な被害が予測される紀南地方において、新宮市との協働で新たな視点で防災・減災対策に取り組むと共に、災害救助犬協会自体の実効性を高めるための基盤整備を行うものである。

【事業内容】

(事業の背景)

3月11日に発生した東日本大震災では、和歌山県沿岸にも大津波警報が発表されたが、その避難率はわずか数パーセント台に留まるなど、地域住民の防災意識は必ずしも高いとは言えない。

しかし、東日本大震災の被害状況はテレビなどで連日報道されており、地域住民の防災意識は確実に高まってきている。

よって、この機会に様々な角度から防災啓発に取り組み、地域住民の防災意識と津波災害の知識を向上させることにより、近い将来の発生が確実視される東海・東南海・南海地震による人的被害を最小限にとどめることが可能であると思われる。

だが、行政による啓発活動だけでは、どうしても行政依存体質となり、「自分の命は自分で守る」という「自助の心」が育たない恐れがある。また、その啓発手段も限られたものとなり、マンネリ化から脱却できない。

よって、災害対応経験の豊富な NPO 法人和歌山災害救助犬協会とタイアップし、住民の視点に立った新しい啓発活動や訓練活動を行うことで住民の防災意識を向上させ、また同協会が行政と住民とのパイプ役を務めることにより両者の意思疎通が円滑な啓発活動が可能となる。

(事業の目的)

東日本大震災における捜索活動を通じ、NPO 法人和歌山災害救助犬協会が感じた和歌山県における防災・減災活動の課題に対し、新しい形の防災事業を新宮市と共に提案し、この事業を他の行政機関や教育機関等のマルチステークホルダーと共に実施することにより、地域住民の防災・減災意識を向上させ、また未来を担う子供たちに命の大切さと人を思いやる気持ちを学んでもらうと共に、自分の意志で行動できる大人となってもらうことにより、地域力の向上を目指す。

また、NPO 等支援重点化枠にて、NPO 法人和歌山災害救助犬協会の基盤を強化することにより、当地方において大規模災害が発生した場合の救助力を向上させるなど、災害前の防災・減災対策だけではなく災害後の実効性を高めることを目的とする。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/atarashiikoukyou.html>